

疥癬と感染予防策

～利用者と自分を守るために
知っておいてほしいこと～

ねらい(目指す姿)



- 疥癬の基本的な知識(特に疥癬を疑うべき症状)がわかる
- 疥癬の感染予防策を理解し、実践できる

今日の話の3つのポイント



- 疥癬は主に皮膚と皮膚の接触で感染する
- 通常疥癬は通常の1ケア1手洗いをきちんとしていれば感染リスクは低い
- 疑わしい皮疹がある場合は、手を中心に疥癬トンネルがないかをよく観察し、早めに皮膚科に受診させる

本日のメニュー



- 概念と疫学(統計)
- 症状と受診のまとめポイント
- 検査と診断
- 治療
- 感染経路と予防策
- まとめ

概念(疥癬とは)

ヒトの皮膚角質層に寄生するヒゼンダニの感染により発症しヒゼンダニの虫体、糞、脱皮殻などに対するアレルギー反応による皮膚病変と掻痒を主症状とする感染症

8. ヒゼンダニの糞(左上)と卵



皮膚同士の接触
により感染する

ヒゼンダニについて

●ヒゼンダニの大きさ



ヒゼンダニ(拡大図)

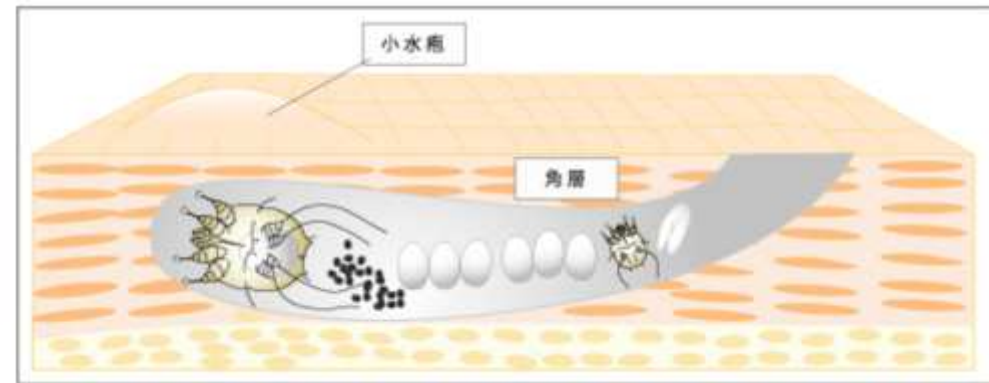
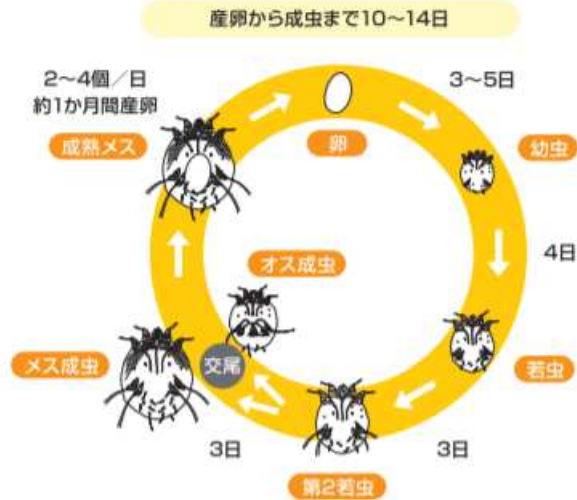


体長約400μメートル(0.4mm)

皮膚から離れると
2~3時間で死ぬ

ヒゼンダニの生活

ヒゼンダニは、表皮の角層にトンネルを掘り、そこに1日2~4個の卵を産み続けます。卵は3~5日で孵化し、10~14日で成虫になります。



疥癬トンネルの模式図

出典: 皮膚科学会皮膚科Q&A、maruho HP

通常疥癬と角化型疥癬

疥癬は普通疥癬と、感染力の強い角化型疥癬の2種類がある

表1 通常疥癬と角化型疥癬

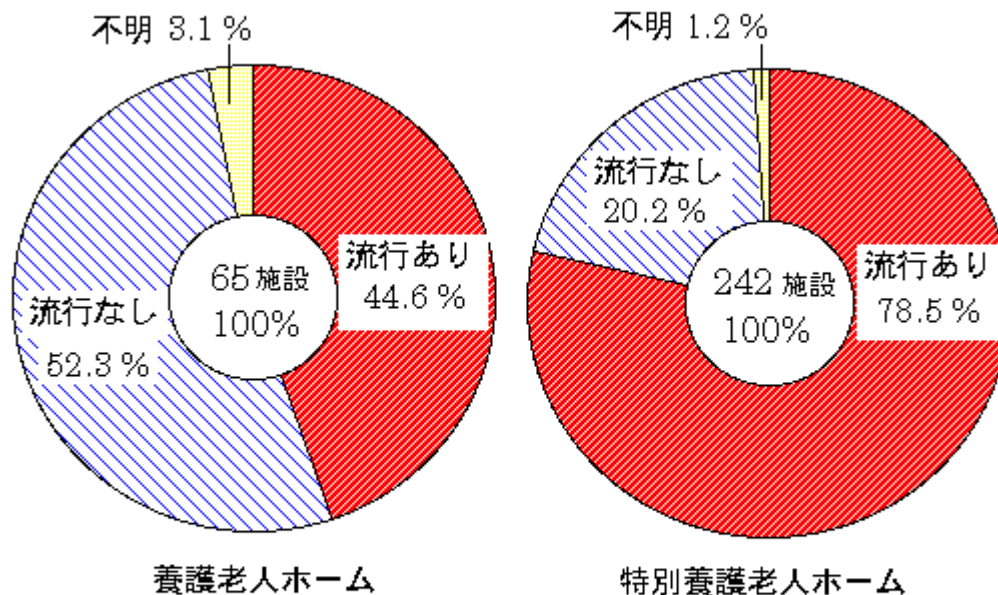
	通常疥癬 (普通に見られる疥癬)	角化型疥癬 (痂皮型疥癬)
ヒゼンダニの数	数十匹以上	100万~200万
患者の免疫力 (病気一般に対する抵抗力)	正常	低下している
感染力(他人へうつす力)	弱い	強い
主な症状	赤いブツブツ(丘疹、結節)、疥癬トンネル	厚いあか(垢)が増えたような状態(角質増殖)
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

全身衰弱者、ステロイド使用、重篤な基礎疾患など

疫学

- ・推定患者数は8～15万人／年
- ・相模原市でも毎年1～2施設で10名以上の患者が発生している

図1. 養護老人ホームと特別養護老人ホームでの疥癬集団発生率



(大滝倫子、皮膚病診療 19:468,1997)

割とありふれた
病気です

集団発生: 同一ユニットで
2か月以内に2人以上の患者発生

本日のメニュー



- 概念と疫学(統計)
- 症状と受診のまとめポイント
- 検査と診断
- 治療
- 感染経路と予防策
- まとめ

症状と受診のポイント

強いかゆみ＋皮疹の時は早めに受診する

表1 通常疥癬と角化型疥癬

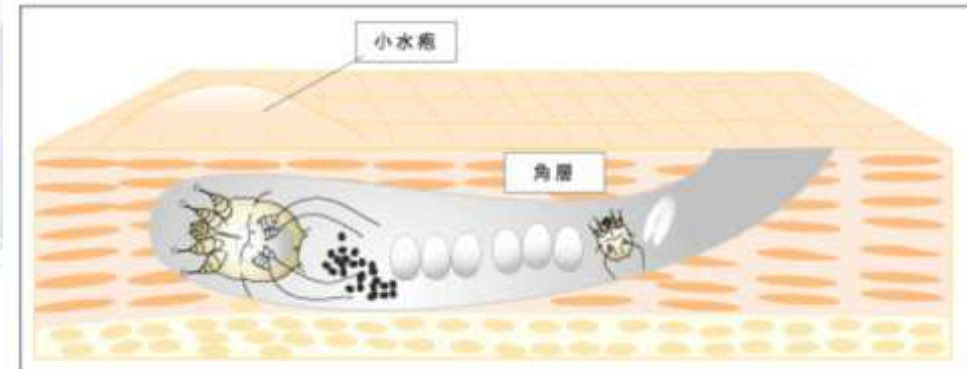
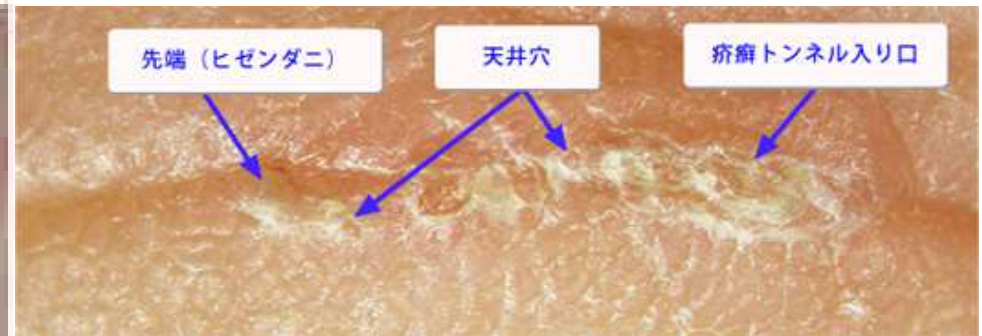
	通常疥癬 (普通に見られる疥癬)	角化型疥癬 (痂皮型疥癬)
ヒゼンダニの数	数十匹以上	100万～200万
患者の免疫力 (病気一般に対する抵抗力)	正常	低下している
感染力(他人へうつす力)	弱い	強い
主な症状	赤いブツブツ(丘疹、結節)、疥癬トンネル	厚いあか(垢)が増えたような状態(角質増殖)
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

水疱、膿疱(うみ)、
痂皮(かさぶた)
などもあり

疥癬トンネル



疥癬トンネル



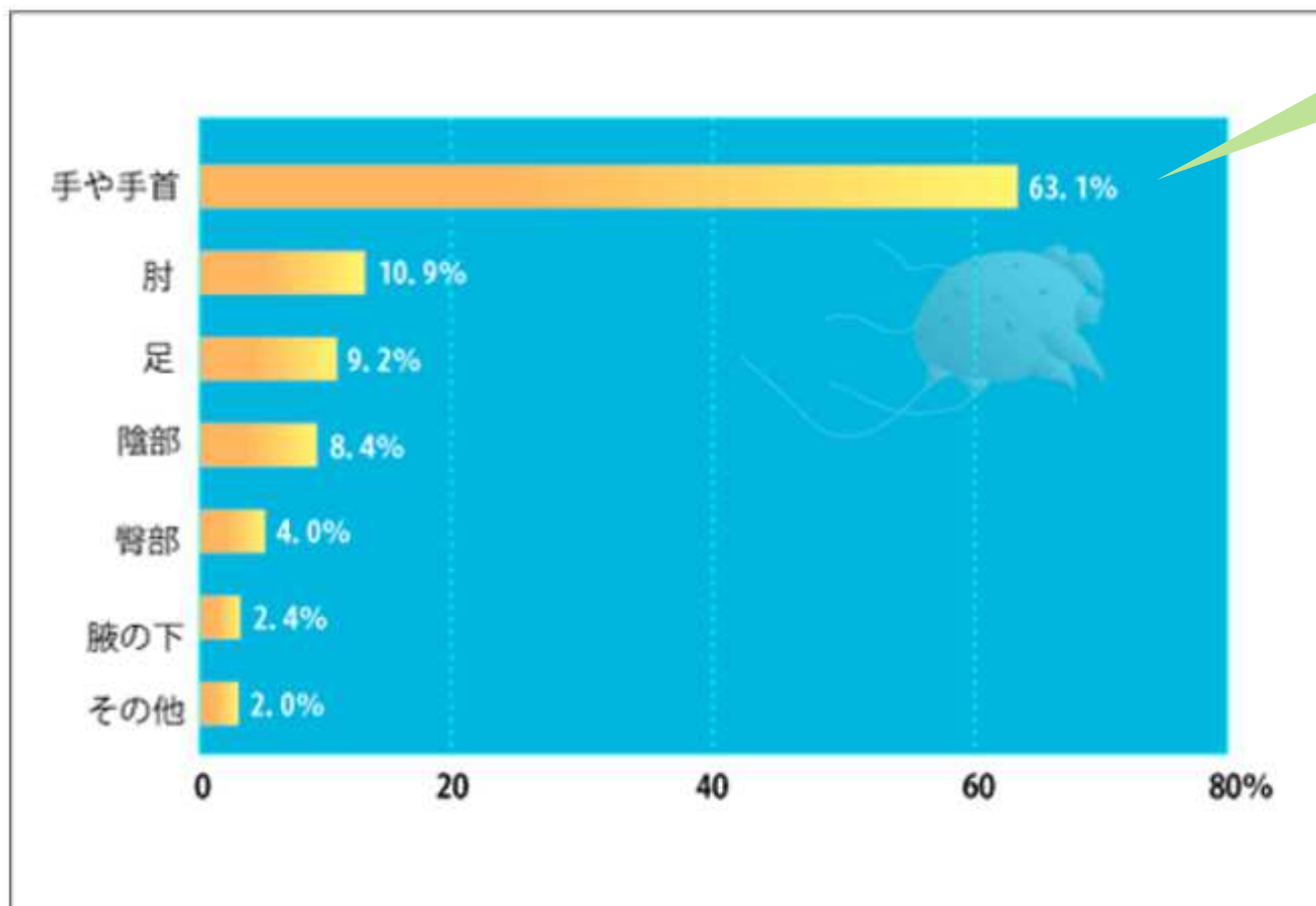
疥癬トンネルの模式図

疥癬に特異的な唯一の皮疹

手首屈側、手掌尺側、指、指間、アキレス腱などに多い

参考：ヒゼンダニのメス成虫の分布

清水市さがみはら



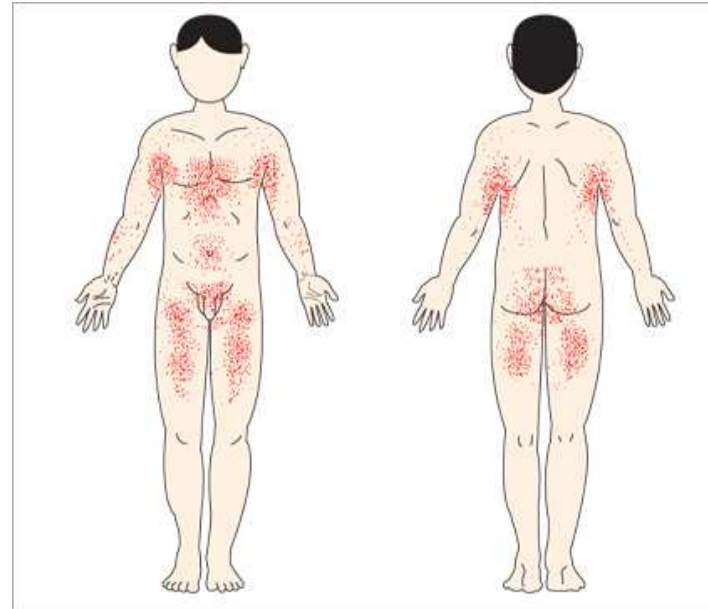
やはり手の観察が重要！

紅斑性丘疹

アレルギー反応



お腹の赤いブツブツ



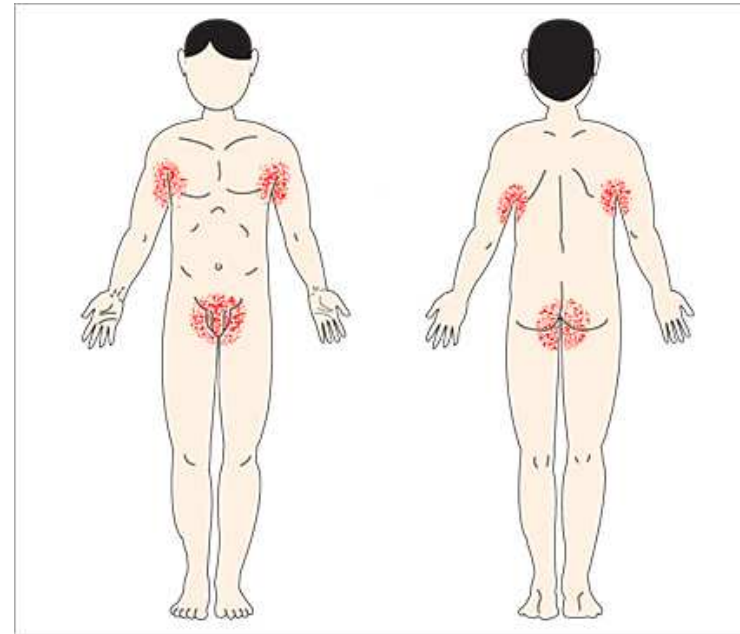
腹部、胸部、背部、
腋窩、大腿に多い



結節

アレルギー反応

3. 疥癬患者の陰のう



男性の陰部に多い

角化型疥癬の角質増殖

灰白色に見える部分は角化が進行している。
角化した皮膚を顕微鏡で観察すると多数のヒゼンダニを認める。



顔の写真

手足、臀部、肘、膝、頭部、頸部に多い

全身衰弱者、ステロイド使用、重篤な基礎疾患を
持つ患者に発症しやすい

疥癬と似た病気

通常疥癬



皮膚そう痒症



アトピー性皮膚炎



老人性乾皮症

角化型疥癬



紅皮症



悪性リンパ腫



乾癬



爪白癬

本日のメニュー



- 概念と疫学(統計)
- 症状と受診のまとめポイント
- 検査と診断
- 治療
- 感染経路と予防策
- まとめ

検査と診断

➤ 診断は

採血検査では
わかりません！

① 症状

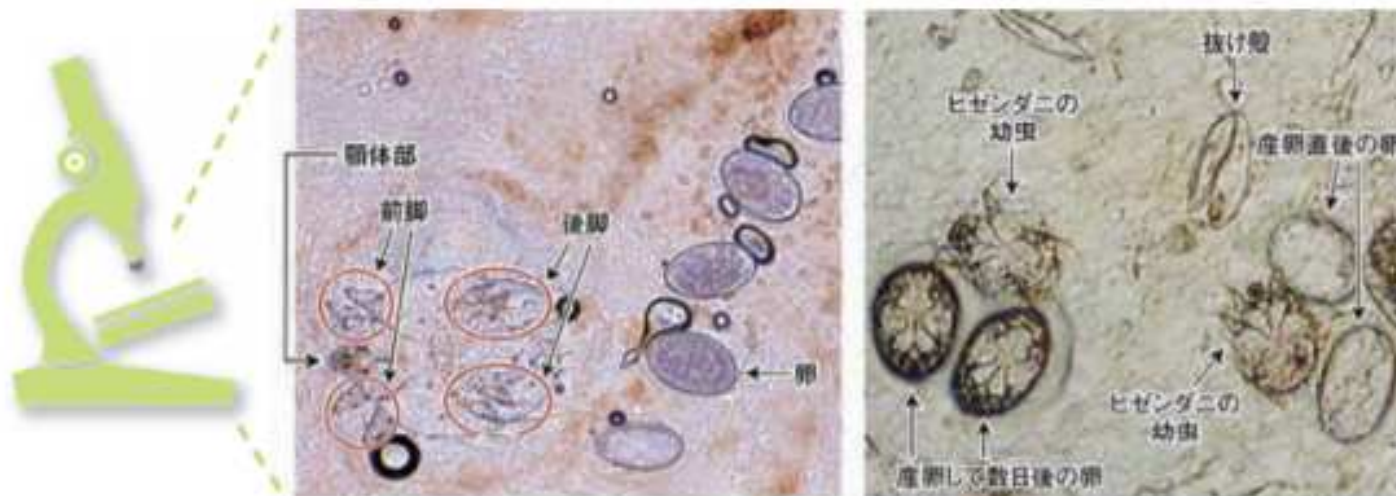
② 顕微鏡検査・ダーモスコピー
検査でのヒゼンダニ検出

確定診断

③ 疥癬患者との接触状況（疫学情報）

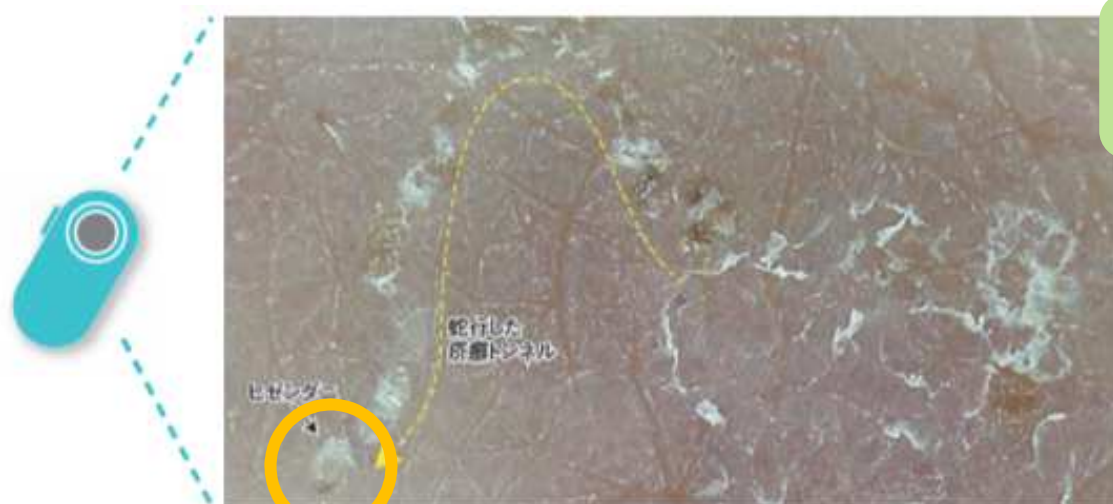
の3つを考慮して行う

顕微鏡検査・ダーモスコープ



顕微鏡で見たヒゼンダニ

顕微鏡像(100倍)



ダーモスコープで見たヒゼンダニ(10倍)

検出率60%程度。陰性でも否定できない時は数週間おきに繰り返し検査する

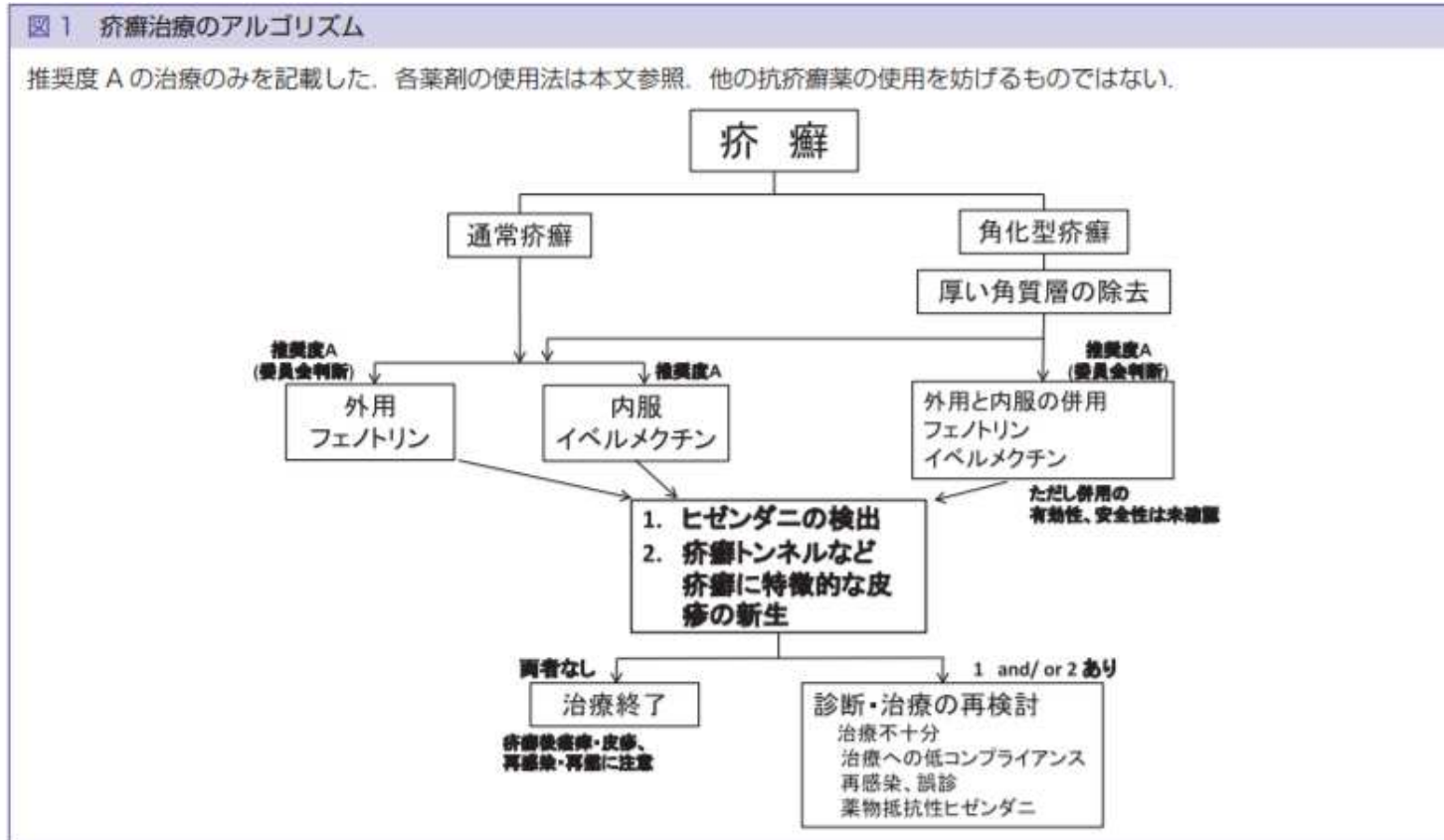
出典:皮膚科学会皮膚科Q&A

本日のメニュー



- 概念と疫学(統計)
- 症状と受診のまとめポイント
- 検査と診断
- 治療
- 感染経路と予防策
- まとめ

治療



通常疥癬：内服または外用
 角化型疥癬：内服と外用の併用 } + 抗ヒスタミン薬

出典：疥癬診療ガイドライン第3版

外用薬の注意点



➤ 外用薬：通常疥癬では頸部以下の全身（皮疹がない部分含む）へ塗布

※小児、高齢者は顔面、頭部含めた全身に塗布

➤ フェノトリンは12時間以上経過後入浴かシャワーで洗淨

治療判定

- 治療終了後、1週間間隔で2回連続してヒゼンダニ未検出＋新たに疥癬に特異的な皮疹（疥癬トンネル等）がなければ治癒と判定

通常疥癬：約3週間～1か月

角化型疥癬：約2か月

- 発疹や掻痒は治癒後も2～3週間以上（時に1年）続くこともある

本日のメニュー



- 概念と疫学(統計)
- 症状と受診のまとめポイント
- 検査と診断
- 治療
- 感染経路と予防策
- まとめ

感染経路と予防策



- 感染経路：接触感染（皮膚同士の接触）
- 潜伏期：約4～6週（角化型疥癬は4～5日）
- リスクの高い接触：同じ布団で寝る、患者の使用した寝具の使用、長時間手をつなぐ
- リスクの高いグループ：家族、介護者、セックスパートナー、ダンスの相手、こたつで行う麻雀仲間、畳での雑魚寝
- まれに寝具、衣類からの感染あり
- 数時間並んで座った程度では感染リスクはほとんどない

予防策・ケアのポイント

「息切れしない
対策」が重要



対応		通常疥癬	角化型疥癬
手洗い	処置ごとの手洗い	励行	
病室管理	個室への隔離 (隔離には患者の同意を得、 人権に配慮する)	不要	個室に隔離し、治療 を開始 患者はベッド・寝具ご と移動 隔離期間は治療開始 後1～2週間
身体介護	予防衣・手袋の着用 使用後の予防衣・手袋は落屑 が飛び散らないようにポリ袋 などに入れる。	特別な感染予防 策は不要	必要(ただし隔離期 間のみ)
入浴	疥癬の他にも白癬などの感染 機会となるリスクが高いケア なので、タオル・足ふきマット の管理に常日頃から注意	通常の方法	入浴は最後とし、浴 槽や流しは水で流す。 脱衣所に掃除機をか ける。

予防策・ケアのポイント



対応	通常疥癬	角化型疥癬
患者の居室・立ち回り先に殺虫剤散布	不要	必要 (ピレスロイド系殺虫剤を隔離解除・退室時に1回だけ散布)
掃除	通常の方法	モップ・粘着シートなどで落屑を回収後、掃除機(フィルター付が望ましい)で清掃
布団の消毒	不要	隔離解除・退室時に1回だけ熱乾燥, またはピレスロイド系殺虫剤散布後, 掃除
車椅子, ストレッチャー, 血圧計の管理	通常の方法	隔離解除時に掃除機をかけるか, ピレスロイド系殺虫剤散布

予防策・ケアのポイント



対応	通常疥癬	角化型疥癬
診察室・検査室などのベッド	診察室や、MRI・脳波検査などは、常日頃からベッドにディスプレイザブルシーツなどを使用し、患者ごとに交換する	
シーツ・寝具・衣類の交換	通常の方法	自家感染予防のため治療の度に交換
洗濯物の運搬時の注意	常日頃から落屑等が落ちても飛び散らないようにポリ袋などに入れて運搬する	
洗濯	通常の方法	以下のいずれかを行う <ul style="list-style-type: none"> ・普通に洗濯後に乾燥機を使用 ・50℃ 10 分間熱処理後普通に洗濯 ・密閉してピレスロイド系殺虫剤を噴霧してから普通に洗濯



まとめ

ねらい(目指す姿)



- 疥癬の基本的な知識(特に疥癬を疑うべき症状)がわかる
- 疥癬の感染予防策を理解し、実践できる

今日の話の3つのポイント



- 疥癬は主に皮膚と皮膚の接触で感染する
- 通常疥癬は通常の1ケア1手洗いをきちんとしていれば感染リスクは低い
- 疑わしい皮疹がある場合は、手を中心に疥癬トンネルがないかをよく観察し、早めに皮膚科に受診させる

参考文献



- 国立感染症研究所 疥癬とは
(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/380-itch-intro.html>)
- 国立感染症研究所 感染症情報センター 疥癬とは
(<http://idsc.nih.go.jp/disease/scabies/gazou.html>)
- 疥癬診療ガイドライン第3版(日本皮膚科学会)
(<https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/guideline/kaisenguideline.pdf>)
- 日本皮膚科学会 皮膚科Q&A 疥癬
(<https://www.dermatol.or.jp/qa/qa6/q06.html>)
- maruho HP 疥癬とは
(https://www.scabies.jp/scabies/sarcoptes_scabiei.html)
- 高齢者介護施設における感染対策マニュアル
(<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/dl/130313-01.pdf>)